



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2020年  
8月3日  
発行

## 第45回 「ポンペオ国務長官の演説」

### ～ 激化する米中の覇権争い ～

#### 初めに

7月27日、米国は中国に対して大きな行動を2つ起こしました。1つはヒューストンにある中国総領事館の閉鎖要求。もう一つは、カリフォルニアのレーガン博物館でのポンペオ国務長官の演説です。いずれも中国を非難するものであり、今後米国が中国により厳しい態度で接することを示唆するものといえます。米中の覇権争いは今後一段と激化するとみられ、『新冷戦』などの言葉を見ることも増えてきました。今回は、米中の覇権争いについて、お話しします。

#### 覇権争いとは違う貿易戦争

今回の米国の動きについて、選挙を控えたトランプ大統領が支持率を上げるために中国叩きに出ているという見方がありますが、自分はその可能性が低いと考えています。もともと、トランプ氏には覇権争いというような考えはなく、ただ自分の再選の為に中国が米国から農産物などを買えばよい、これがトランプ氏の貿易戦争だと思います。したがって、ここでのポンペオ氏などの動きは、トランプ氏に指示されたというよりも彼らが自発的に危機感をもって立ち上がったもの、との見方です。

#### ポンペオ氏の演説

ポンペオ氏の演説は、中国共産党や習近平国家主席を強く非難する一方、民主主義の国々を束ねて中国に対する防波堤を作るといったものです。既存の組織としてのG7などの活用も考えています。現在は、トランプ氏の一国主義もあり、民主主義国家の連携が弱まっている状況です。この、民主主義国家を連携させるというポンペオ氏の戦略が実現すれば、中国の進出を抑える効果が期待できるとみており、注目しています。

#### 覇権争いと日本

この覇権争いは、日本にも大きな影響を与えます。米国は、中国企業に対する規制を強化しつつありますが、これは日本企業にとってチャンスとなることもあるでしょう。一方、最近では尖閣など日本の領海に中国漁船が連日入ってくるなど、地政学リスクは高まっています。このような観点からこの覇権争いは、今後株式市場にとっても大きな注目要因と考えています。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。